

がつごう くろーずあっぷ
■れすぱす5月号 クローズアップ

えどがわありす かい
江戸川アリスの会

にほんごがっこう まな りゅうがくせい にほん ふ きかい
～日本語学校で学ぶ留学生に、もっと日本に触れる機会を～

こんげつ くろーずあっぷ えどがわありす かい しょうかい えどがわあ
今月のクローズアップは、江戸川アリスの会をご紹介します。江戸川ア

りす かい まん にん とうきょう く だい い がいこくじん
リスの会は、およそ3万3500人、東京23区で第2位にのぼる外国人が

く えどがわく かつどう ぼらんてい あだんたい えどがわく しょうがい
暮らす江戸川区で活動するボランティア団体です。江戸川区の生涯

がくしゅう ば えどがわそうごうじんせいだいがくこくさいこみゆにていがつか ゆう
学習の場である江戸川総合人生大学国際コミュニティ学科の有

し ねん せつりつ いらい くない にほんごがっこう かよ りゅう
志によって2005年に設立されて以来、区内の日本語学校に通う留

がくせい たいしょう こうりゅう しえんかつどう おこな
学生を対象として、さまざまな交流・支援活動を行っています。

だんたいめいしょう ありす こ
団体名称の“アリス”に込められているのは、“「あ」らゆる「り」ゅうが

くせいの「す」けつと”になろうという思いだそうです。江戸川総合人生

だいがく かつどうしつ だいひょう ながさかたつお ふくだいひょう ひはらさちよ
大学の活動室で、代表の長坂龍郎さん、副代表の日原幸世さ

こうほう しなだまさこ はなし
ん、広報の品田正子さんにお話をうかがいました。

だいひょう ながさか はさ
代表の長坂さんを挟んで、

ふくだいひょう ひはら ひだり
副代表の日原さん（左）と

こうほう しなだ
広報の品田さん。



えどがわありす かい せつりつ けいいい おし
Q. 江戸川アリスの会の設立の経緯を教えてください。

しなだ えどがわありす かい えどがわそうごうじんせいだいがくこくさいこみ
A. 品田さん：江戸川アリスの会は、江戸川総合人生大学国際コ
ミュニティ学科の1期生たちが結成したボランティア団体で、私も結成
じ めんばー ひとり えどがわそうごうじんせいだいがく ちしき
時のメンバーの一人です。江戸川総合人生大学は、これまでの知識や
けいけん い しゃかいこうけん こころぎ ひと おうえん えどがわ
経験を活かして社会貢献を志す人たちを応援するために江戸川
く せつりつ まな ば ねんじ むか なん しゃかいかつどうたいけん
区が設立した学びの場で、2年次を迎えると何らかの社会活動体験
じっせん かりきゅらむ ねん こくさいこみゆにてい
を実践していくカリキュラムになっています。2005年に国際コミュニ
ティが かつか きせい わたし こくさい しゃかいこうけん
学科の1期生だった私たちも、“国際”につながる社会貢献ができる
ば いろいろ さがもと ひんと のち
場を色々探し求めました。そして、このときヒントとなったのが、後に
えどがわありす かい しょだいだいひょう めんばー じたく しんぶんはいたつ
江戸川アリスの会の初代代表となるメンバーが自宅に新聞配達に
く りゅうがくせい き にほんじん こうりゅう ことば
来る留学生から聞いた、「日本人との交流がない」という言葉でし
ことば にーず みいだ わたし かつどう たいしょう りゅうがくせい
た。この言葉にニーズを見出した私たちは活動の対象を留学生
しほ えどがわくない にほんごがっこう てがみ おく にほん
に絞り、江戸川区内の日本語学校に手紙を送りました。そして、日本
ごがっこう まな りゅうがくせい こうりゅうかつどう はじ かつどう さんか
語学校で学ぶ留学生との交流活動が始まり、この活動に参加
ゆうし えどがわありす かい けっせい げんだいひょう ながさか
する有志たちが江戸川アリスの会を結成したのです。現代表の長坂
えどがわそうごうじんせいだいがく きせい ふくだいひょう ひはら
さんは江戸川総合人生大学の2期生、そして副代表の日原さんは
きせい
4期生になります。



ちゃ ちょうせん りゅうがくせい
はじめてお茶に挑 戦する 留 学生

せいざ さほう なら
きちんと正座をして、お作法を習います。

©EDOGAWA ARIS



こと しどう う りゅうがくせい
お箏の指導を受ける 留 学生

ふ じっさい おと だ
触れるだけでなく、実際に音を出してみます。

©EDOGAWA ARIS

かつどうないよう おし
Q. おもな活動内容を教えてください。

ながさか えどがわく かさい とうほうこくさいがくいん にほんご まな
A. 長坂さん：江戸川区葛西にある東方国際学院で日本語を学ぶ

りゅうがくせい たい こうりゅう しえんかつどう じっし にほん
留学生たちに対して、交流・支援活動を実施しています。「日本

ぶんかしょうかい にほんごこうりゅうかい くりすますぱーてい ちいきこう
文化紹介」「日本語交流会」「クリスマスパーティ」のほか、「地域交

りゅう いっかん がいこくじん しょう しゃむ さいがいくんれん いんそつ
流」の一環として外国人・障がい者向けの災害訓練への引率

じもと かいさい えいがさい いっしょ えいがかんしょう かつどう
や、地元で開催される映画祭と一緒に映画鑑賞をするなどの活動

おこな なか りゅうがくせい こうひょう ぎょうせん
を行っています。中でも留学生のみなさんに好評なのが、行船

こうえんない げんしんあん かいさい にほんぶんかしょうかい じゅんにほんけん
公園内にある源心庵で開催する「日本文化紹介」。純日本建

ちく わふうていえん たの ちゃ こと なんきんたま たいけん
築や和風庭園を楽しみながら、お茶・お箏・南京玉すだれを体験し

にほんぶんかしょうかい そつぎょう りゅうがくせい
てもらっています。この「日本文化紹介」は卒業する留学生のた

もよお もの どうほうこくさいがくいん がっこうぎょうじ く こ
めの 催し物としても東方国際学院の学校行事に組み込まれてお

ねんど めい そつぎょうせい しょうたい がつ がつ
り、2018年度には186名の卒業生を招待するため、1月から2月だ

けい かいがいさい がくいん そつぎょうしき えどがわありす かい
けで計6回開催しました。また学院の卒業式にも江戸川アリスの会

まいとし めい れっせき だいひょう わたし しゅくじ の
から毎年5名ほどが列席し、代表の私が祝辞を述べさせてもらっ

きかい え がくいん ながねん わたし
ています。こうした機会が得られるのは、学院が長年にわたる私たちの

かつどう たか ひょうか しんらい あかし おも
活動をいかに高く評価し信頼してくれているかの証だと思ひます。



えどがわしょうぼうしょ おこな さいがいくんれん
江戸川消防署で行われた災害訓練にて。

しょうかき つか かた まな
消火器の使い方を学んでいます。

©EDOGAWA ARIS



にほんぶんか じっさい たいけん
日本文化を実際に体験

なんきんたま ちょうせん
南京玉すだれに挑戦しています。

©EDOGAWA ARIS

いべんと さんか りゅうがくせい ようす
Q. イベントに参加した留学生のみなさんの様子はいかがですか。

ながさか としはじ にほんごこうりゅうかい どうほうこくさいがくいん
A. 長坂さん：年初めの「日本語交流会」では、東方国際学院

じゅぎょう なか にほん しょうがつ あそ しょうかい じつえん
の授業の中で日本の正月の遊びを紹介・実演させてもらっ

にほんじん ふくわら
るのですが、いまや日本人もなかなかすることがなくなった福笑い、すご

ぼうず あそ おお も あ がくいん せんせい
ろく、坊主めぐりといった遊びで大いに盛り上がります。学院の先生方

かれ かお あか はな み おどろ
も「彼らの顔がこんなに明るく華やぐのを見たことがない」と驚かれる

がつ くりすますぱーてい びんごげーむ こうれい
ほです。また、12月のクリスマスパーティではビンゴゲームが恒例となっ

も あ
ているのですが、このときの盛り上がりもものすごいです。

ひはら いべんと さんか りゅうがくせい
A. 日原さん: どのイベントでも、参加した留学生たちはみな、「とても

たの い せじ かれ ようす
楽しかった。」と言ってくれます。それがお世辞でないことは彼らの様子か

じゅぎょう み えがお み
らわかりますし、ふだんの授業では見せないような笑顔を見せてくれるこ

うれ
とが嬉しいですね。



えがお りゅうがくせい
はじけるような笑顔の留学生たち

©EDOGAWA ARIS



いべんと おも き たの
イベントを思い切り楽しんでいます。

©EDOGAWA ARIS

なが りゅうがくせい こうりゅう つづ かんそう も
**Q. 長く留学生との交流を続けてきて、どのような感想をお持ち
ですか。**

ながさか りゅうがくせい にほんごのうりよく ねんねんたか
A. 長坂さん: 留学生たちの日本語能力が年々高くなっている

かん ごがく しゅうとく あるばいと ちから い
と感 じます。かつては語学 の 習 得 よりもアルバイトに 力 を入れている

がくせい みう いま いっていれべる にほんごのうりよく
よ うな学 生 も見受けられましたが、今では一 定 レベルの日本語能 力 が

がくいん にゅうがく がくせい こうじょうしん
な ければそ もそ も学 院 に 入 学 できませ んし、ど の学 生 も向 上 心 に

と かんしん かれ はなし がんば
富 んでいて感 心 させられま す。彼らと 話 をして いると、がむしやらに頑 張

じぶん せいしゅんじだい おも だ おお ぼっくあっぷ
つていた自 分 の青 春 時 代 を思 い出 すこ とも 多 く、バ ックア ップしてあ げ

きも ま えどがわありす かい めんばー
たいという気 持 ちがど んど ん増 してい きます。江 戸 川 アリスの会 のメンバ ー

りゅうがくせい にほん とう かあ おも
は 留 学 生 たち の“日 本 のお父 さん、お母 さん”に なりた いと思 っ てい

めんばー おお こうれい じっさい にほん
ま すが、メンバ ーの 多 くが 高 齢 に な っ てき ている ので、実 際 は“日 本 の

おじいさん、おばあさん”というところ でしょう か (笑)。わらい

なが ぼらんていあかつどう つづ ひけつ
Q. 長 くボラ ンティア 活 動 を続 ける秘 訣 はあ りま すか。



ながさか えどがわありす かい もっとー
A. 長 坂 さん : 江 戸 川 アリスの会 のモ ットーは「で

じかん たの せい
きる時 間 に、で きるこ とを、楽 しく、誠 意 をも っ て」

かど ぎむかん も ひと
です。過 度 に義 務 感 を持 っ てや るの で はな く、そ の人

ペース たの さんか ぼらんていあ
な りのペ ース で 楽 しく 参 加 す るこ とがボラ ンティア

かつどう けいぞく いちばん ちから かつどう さんか ねん
活 動 を 継 続 し てい く 一 番 の 力 に な りま す。活 動 に 参 加 す るの が年

かい めんばー ひと ベすと ペース
に 1~2 回 というメンバ ーが いて も、そ れが そ の人 のベ スト なペ ース なら ばそ

わたし ばあい とし はな かか しんし たいど
れでい いの だ。私 の 場 合 は、年 が 離 れて いる のに も 関 わら ず 真 摯 な 態 度

せつ わか りゅうがくせい はな たの かつ
で接してくれる若い留学生と話すのがとても楽しいので、それが活
どう つづ ちから
動を続けていく力になっています。

ひはら げんざい えどがわありす かい めんばー
A. 日原さん：現在江戸川アリスの会のメンバーは

めい にんずう かつどう すけじゅーる
16名。この人数ですべての活動スケジュールをこ

むずか ひとで た
なしていくのは難しいので、人手が足りないときは

だんたい てつだ き
ほかの団体から手伝いに来てもらいますし、こちらか

だんたい いべんと てつだ い こらぼれーしょ
らほかの団体のイベントのお手伝いに行くこともあります。コラボレーショ

ん だんたい どうし たが ちから か あ むり かつどう
ンといたしますか、団体同士が互いに力を貸し合うことで、無理なく活動

つづ おも
を続けられていると思います。



かつどう かだい き
Q. 活動における課題がありましたらお聞かせください。

ながさか めんばー へいきんねんれい さい こ じょうきょう
A. 長坂さん：メンバーの平均年齢が70歳を超えている状況で

あた ねんばー ふ なや たね きそんめんばー
新しいメンバーがなかなか増えないことが悩みの種です。既存メンバーの

なか よ あら さんか おも ひと ばりあ
仲がとても良いことが、新たに参加したいと思う人にとってはバリアにな

しんぱい こうりゅうさき とうほうこく
っているのではないかと心配になることもあります。交流先の東方国

さいがくいん つよ しんらいかんけい ゆうこうかんけい きず われ
際学院とは強い信頼関係、友好関係が築かれているので、ぜひ我

われ あと つ がくいん まな りゅうがくせい こうりゅうかつどう つづ
々の後を継ぎ、学院で学ぶ留学生たちとの交流活動を続けて

めんばー で ほ ねが
いくメンバーが出てきて欲しいと願っています。



しなだ えどがわありす かい えどがわそうごう
A. 品田さん:江戸川アリスの会では、江戸川総合

じんせいだいがく ざいこうせい たい かつどう さんか
人生大学の在校生に対して活動への参加を

よ えどがわく ぼらんて
呼びかけるのはもちろんのこと、江戸川区のボランテ

いあふえすていばる ぶーす だ わたし
ィアフェスティバルでもブースを出して、私たちの

かつどう しょうかい げんざい めんばー えどがわそうごうじんせい
活動の紹介をしています。現在のメンバーには、江戸川総合人生

だいがく しゅっしんしゃ はたら ひと きょうみ
大学の出身者だけでなく、働いている人たちもいますので、ご興味

も かつ かた きがる と あ
をお持ちになった方にはぜひ気軽にお問い合わせいただきたいです。